

白石 真里奈

TypeA Color

大分市 森林セラピー

TypeA Mono

大分市 森林セラピー

TypeB Color

森林セラピー

Logo Application



TypeA -variation-

大分市
森林セラピー

TypeB Mono

森林セラピー

現状分析・問題抽出

課題一覧の掲載情報や課題提供者へのヒアリング、生活者としての意識等からこの課題をどのように捉えるか？

▶ 現状について

- おおいた市内の森林の魅力を活かし、心身の健康を維持・増進・病気の予防をすることなどを目的に、「森林セラピー」を推進している。
- ウェブサイトではイベント情報、セラピーロード、セラピスト・セラピーガイドの紹介をしている。
- 「おおいた森・人・癒しの会」は12年の実績がある

▶ そのままの問題はどこにあるのか

【ロゴの問題点】

- ロゴとしての印象が弱い。「大分市」「森林」「セラピー」のイメージが伝わりにくい。
- ウェブ、名刺、チラシ、ポスターなど多様なメディアへの汎用性が低い。

- SNS上でのマーケティングを行う際、アイコンとして使えない。
- 「〇〇市 森林セラピー」としての展開が難しい。

【ウェブサイト(「大分市森林セラピー」の魅力を発信する方法)の問題点】

- 「お知らせ」「イベント情報」「セラピーロード」の情報が個々のページで独立していて、特定の場所で行われているイベントを知りたくてもなかなか辿り着けない。
- インスタグラム・フェイスブックなどのSNS展開をしていないので、リアルタイムの情報収集が難しい(サイトにアクセスしないと分からない)。若年層やファミリー層にリーチしづらい。

ビジョン

そもその問題を解決するためには、どのような状態になることが望ましいと考えるか。

「大分市森林セラピー」および「森林セラピー」を若年層やファミリー層など日常的にネットでの情報収集をしている人たちにも幅広く普及させるために、活動概念や理念、実績と年間計画を再

定義しSNSやアプリを使ったオンラインツールを軸にして発信することが必要である。また、大分市内に留まらず、近隣市や大分県内全域に活動の領域を広げていくことも視野に入れたデザインを構築し、最終的には県外や海外からのビジター向けのプランも提供できる可能性もある。

「森林セラピー」がより多くの人たちへ響き、体験してもらうことで、身近にある自然環境の素晴らしさや尊さ、美しさに気づき、環境保全など社会と自然の関係が良い方向へ向かう一端になることが望ましい。

今の活動からさらに関心をもってもらうために、例えば、新規ルートの提供やエリアの拡大は難易度のバリエーションやセラピーそのものの質を高めることができ(例：1泊2日温泉付きリゾートセッションの企画など)、活動の幅に奥行きを持たせることができると考えられます。そして、リピーターの獲得と体験者のSNS発信等の口コミによる認知度アップはより多くの集客も期待でき、新しいイベントの提案や、「おおいた森・人・癒しの会」の会員数増員にもつながります。また、多くの場所で開催されることにより、現状月1ペースほどで開催されているイベントも今週は大分市、来週は別府市、佐伯市など、毎週どこかで必ずセラピーが行われている状況になり、さらに活気ある活動になることも考えられます。

プランニング

問題を解決するためのアイデアや、その先のビジョンを実現するためのプラン。

上記のようなビジョン達成のため、ロゴに求められる要素は以下の通りです。

- 老若男女誰にでも受け入れられる中立的なデザイン
- 自然・人・癒しのイメージを感じられるデザイン
- 信頼感、分かりやすさ、汎用性のあるデザイン

ロゴの刷新と並行して、他市への森林セラピーを展開することを念頭に置いた「ブランディング」と「ウェブ発信」についてのご提案です。

まず、ポイントとなるのが一貫したブランディングを提供すること。ご提案するロゴのデザインは「大分市」と「森林セラピー」を分割して使うことができ、仮に近隣市で活動を普及する場合、「〇〇市」の部分と同じトーンでデザインし活用することができます。重要なのは、開催される地域によってオリジナリティを前面に押し出さないこと。観光パンフレットのように各市の特産などを広告するものとは違い、例えば「郵便局」のような、どこにでもあって、どこでも同じ体裁にすることが理想です。普及したいのは「森林セラピー」そのものであり、自分たちの住む市内にある森林へ出向き癒されること、新しい自然との関わり方です。どこに住んでいても、どこの森に入ってもそれは平等で、共通していることだからです。デザインに安定性や信頼感が求められます。SNSやウェブ発信についても一貫したテーマや内容のガイドラインを決めておくことが大切です。そしてブランドを確立し、認知度があがっていく

と、「大分市森林セラピー」にファンが付き、活動の新規参加者やリピーターだけでなく、運営側にも適切な人材を確保できることにつながるのではないのでしょうか。

デザインコンセプト・提案のポイント

アイデアやプランを実践するためのデザインの役割や問題解決のためのポイント。

【ロゴデザインコンセプト】

大分市の街と森が共存している様子から、森と林という漢字の原始的な形である「象形文字」をモチーフに現代的で少し都会の風も感じるようなタイプフェイスをデザインしました。

森林セラピーが、森の中を歩いて五感を使い、自然とつながることと自身の内なる心に気付き、癒されるように、つながりや自然体、やわらかな川の流れ、山々の連なりを表現しています。

そして、よく見ると、参加者やセラピストを意味する「人」という文字もロゴの中に隠されています。

自然と対話することによって生まれる癒しのエネルギーを感じていただけたら幸いです。

【情報発信について】

●セラピールート情報の改善

現在市内5つのセラピールートがあるが、googleマップの機能を使って紹介している。これはgoogle mapをその都度読み込む手間がかかり、山中など電波状況があまり良くない場所にいるとうまく読み込めない可能性があります。オフラインマップをはじめ登山者への情報が集積されたYAMAPのようなオリジナルアプリを提供することで、google mapには載っていないルートや電波の届かない場所でも詳細情報を確認できるようになります。

●最新情報、お知らせ、次回開催イベントなどの情報を統合する

今後の展開も視野に入れ、活動内容の文章・写真を整理し、投稿記事のカテゴリー別けなど、わかりやすくブラッシュアップして発信する必要があります。

例えば、最新のイベント情報の記事を閲覧すると、同じページ内にセラピールート情報、現場の写真や講師の紹介、関連するおすすめイベントや、実際にルートを歩いた人のコメント欄など、様々な情報が同じページ内に集積されるデザインにすると良いと思います。イベントや各ルートをカテゴリー別けをして、参加者が興味をもてるようなイベントに誘導もしくは検索できるような仕組みも作ることができます。最終的には森林セラピーを行っている全ての市の情報を集約したポータルサイトもしくはアプリとして機能し、それぞれの市に住んでいる参加者が各地域を往来しやすい情報提供のかたちを目指します。